

わらしこだより 5月



子どもも大人も、「ゆっくり休む」を大事にしたい 5月

風薫る5月、少しずつ“いつもの毎日”になってきました。

4月は、子どもたちにとっても保護者の皆さまにとっても、気を張る毎日だったことと思います。登園時に泣いてしまう姿を見ると、「ちゃんと過ごせるかな」と心配になりますよね。でも、お部屋に着くと好きな遊びを見つけたり、お友だちがお支度をしている流れで一緒に自分もできちゃったり、お散歩の時間を楽しんだり。子どもたちは子どもたちで、自分の世界を少しずつ広げています。いつまでも泣いているわけではありませんので、どうぞ安心してくださいね。

いろいろな人と関わり、いろいろな世界にふれることは、子どもの情緒の安定や学び、自立にもつながっていきます。心配しすぎず、時には「信じて待つ」心で見守っていただけたら嬉しいです。

また4月は、早起き・朝ごはん・9時まで登園にご協力いただき、ありがとうございました。生活の土台が整うことで、子どもたちも朝の活動に気持ちよく入れているように感じます。大型連休では、予定を詰め込みすぎず、子どもも大人も「ゆっくり休む」時間を意識して、心と体を整えていただけたらと思います。



今月の絵本、もう見ましたか？ 玄関に見本を置いています♪

わらしこから広がる 子育ての輪

親子遠足、ありがとうございました！



先日の親子遠足では、青少年科学館で、家族同士でお弁当を食べたり、一緒に展示やアトラクションを回ったりする姿が見られ、とても微笑ましい気持ちになりました。子どもたちにとっても、おうちの方にとっても、楽しい時間になっていたら嬉しいです。

子どもは成長するにつれて、少しずつ親の手を離れていきます。そして小学校に上がる頃、その変化はぐっと大きくなります。そんな時に支えになるのは、一緒に学校へ行く友だちや、近くで見守ってくれる大人の存在です。親が見ていないところでも我が子を助けてくれる友だちや、声を掛け合える子育て仲間を、ぜひ少しずつ増やしていきましょう。わらしこから広がる子育ての輪が、親子の安心につながっていけばと思います。



運動会に向けて



暑さ対策のため、運動会を6月に移してから、もう6年ほどになります。今では6月の運動会は、本番のために特別な練習を重ねる場というより、日頃の運動遊びや体遊びの積み重ね、新しいクラスに慣れてきた子どもたちの「今」を見ていただく機会になりました。

当日は、勝ち負けや上手さだけでなく、わが子がクラスの友だちと楽しんでいるか、先生の話聞いて動いているか、どんな表情で取り組んでいるかを見ていただけたら嬉しいです。また、上のクラス下のクラスの姿も、ぜひ見てあげてください。「あの頃はこんなだったな」「来年はこんなことができるようになるんだな」と、育ちの見通しを持つきっかけにもなると思います。どうぞ温かい気持ちでご覧ください。